ただいま呼名されました新入学生の皆さん、改めてご入学誠におめでとうございます。
また、ご家族の皆様におかれましては、今日まで大切に育ててこられたご苦労に深く感謝申し上げるとともに、お子様の新たな門出を心よりお祝い申し上げます。

本校には、この校舎に通学して学ぶ人、自宅で学ぶ人、病院や施設で学ぶ人がいます。学ぶ環境は異なっていますが、同じ日高特別支援学校の仲間として、楽しい学校生活が送れることを願っています。
皆さんは今、新しい環境に踏み出す期待と不安で胸がいっぱいでしょう。しかし、どんな時も自分らしさを大切にし、困ったときには周りの先生や友達を頼ってください。皆さん一人ひとりに寄り添い、力になりたいと教職員一同心を込めて支えていきます。

小学部に入学した皆さんは、毎日少しずつ新しいことを学び、できることを増やしていくワクワクを大切にしてください。友達と笑い合い、遊びながら心豊かに育っていくことを願っています。
中学部に入学した皆さんは、これまでの学びを土台に、さらに多くの経験や挑戦が待っています。自分の好きなことや得意なことを見つけながら進路を考え、新しい仲間と深い絆を育んでください。
高等部に入学した皆さんは、自立や社会参加を視野に入れ、将来に向けた具体的な目標を持つ大切な時期です。日々の 努力を積み重ね、自分らしい道を切り拓く力を身につけてください。
また、ご家族の皆様におかれましては、お子様の新しい一歩を支えるため、学校と連携しながら共に歩んでまいりましょう。皆様の温かな支援が、子どもたちの安心と成長の大きな支えとなります。

現在の社会は、多様な価値観を持つ人々が共に生きる時代です。皆さんがこの学校で多くの人の考えや気持ちに触れ、理解を深めることで、広い心と強い人間関係の基礎を築かれることを願っています。
だから皆さんには、「相手の気持ちを想像し、理解し、寄り添う心」を身につけてほしいと考えています。自分と異なる考えや感じ方に出会ったとき、「なぜそう思うのだろう」と想像力を働かせ、互いに尊重し合うことは、友達関係をより豊かで温かいものにし、これから社会に出ていくうえで欠かせない大切な力です。

新入生の皆さんが、これからの学校生活を笑顔で過ごし、希望に満ちあふれた未来を築かれることを、心から祈念して式辞といたします。

令和八年四月九日
埼玉県立日高特別支援学校長　佐藤 康成